

計画の名称	安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	神戸市												
計画の目標	グリーンインフラ事業として市内4つの水系地区において、雨水幹線への負荷軽減のための公園施設や緑地を整備すると共に、水と緑のネットワーク形成を推進する環境形成帯を整備する。 また、花と緑を活用した緑化・飾花により魅力あふれる都市空間の形成や、地域住民の交流・スポーツ・レクリエーションの拠点となる公園を整備し、コミュニティ形成の活性化を行う また、「六甲山森林整備戦略」に基づく六甲山等の緑地の保全・育成事業を進めることで、土砂災害等に対する街の防災性の向上を図る。 上位計画における位置づけ：「神戸市緑の基本計画」第7章. 施策の展開 2. まちのゾーン 方針2- 街路樹による風格あるまちなみづくりや心地よい木陰の確保、3. 田園のゾーン 方針9- 田園地域におけるコミュニティ拠点の整備促進、4. ゾーンをつなぐ 方針10- 水と緑のネットワークの形成、第8章. 緑の戦略プロジェクト 1. 緑をまもり育て、未来へつなぐ「六甲山プロジェクト」												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	360	A	317	B	10	C	33	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	9.16	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (計画策定時点)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	公園施設や緑地等の整備による雨水流出量を0.43立米/sからR6末までに0.34立米/sにする。 公園施設や緑地等の整備による雨水流出量	4立米/(s・10)	立米/(s・10)	3立米/(s・10)
2	表六甲水系地区において花と緑を活用した緑化・飾花により、魅力あふれる都市空間とすることで、歩行者交通量を10%(R6末)増加させる。 表六甲水系地区における緑化・飾花の整備箇所における歩行者交通量	0%	%	10%
3	加古川水系地区において地域住民の交流・スポーツレクリエーションの拠点となる公園を再整備し、再整備後の公園で開催された地域イベントの件数をR6末までに1件/年にする。 加古川水系地区における再整備後に開催された地域イベントの件数	0件/年	件/年	1件/年
4	明石川水系地区において地域住民の交流・スポーツレクリエーションの拠点となる公園を整備し、開園後の公園で開催された地域イベントの件数をR3末までに3件/年にする。 明石川水系地区における開園後に開催された地域イベントの件数	0件/年	件/年	3件/年
5	森林の保全・育成や緑地の良好な市民利用のためのハイキング道(散策路)の再整備を行い、再整備距離をR6末までに2,000mにする。 ハイキング道(散策路)の再整備距離	0m	1200m	2000m
6	武庫川水系地区において地域住民の交流・スポーツレクリエーションの拠点となる公園を整備し、開園後の公園で開催された地域イベントの件数をR6末までに2件/年にする。 武庫川水系地区における開園後に開催された地域イベントの件数	0件/年	件/年	2件/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業(表六 甲水系地区)	植栽帯再整備、施設整備等(生田町公園ほか)	神戸市						30	-	
	A12-002	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業(加古 川水系地区)	植栽帯再整備、施設整備等(山田町公園ほか)	神戸市						81	-	
	A12-003	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業(明石 川水系地区)	用地買い入れ、植栽帯再整備、施設整備等(押部谷町公園ほか)	神戸市						53	-	
	A12-004	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	緑地保全等事業(六甲近 郊緑地保全区域)	緑地保全利用施設の整備(散策路等)	神戸市						30	-	
	A12-005	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	緑地保全等事業(西須磨 特別緑地保全地区)	特別緑地保全地区の用地取得	神戸市						40	-	
	A12-006	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	緑地保全等事業(一里山 町特別緑地保全地区)	特別緑地保全地区の用地取得	神戸市						30	-	

A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												R02	R03	R04	R05	R06						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
都市公園・緑地等事業	A12-007	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業(武庫 川水系地区)	植栽帯再整備、施設整備等(神戸市						53		-			
												小計						317				
											合計						317					

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R02	R03	R04	R05	R06					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
都市公園・緑地等事業	B12-001	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業（加古 川水系地区・山田町公園 接続道路）	山田町公園へのアクセス道路 の整備	神戸市						10		-		
		基幹事業（A12-002）と一体的に整備することにより、事業の円滑な進捗と公園利用者の利便性が向上する。																			
													小計						10		
											合計						10				

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	29	17	17	24	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	29	17	17	24	
前年度からの繰越額 (d)	35	0	27	6	
支払済額 (e)	64	17	38	23	
翌年度繰越額 (f)	0	0	6	7	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 神戸市緑の基本計画と整合が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題の対応 1) 地域の課題に適合した整備計画の目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の適合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 地域の活性化のために、ハードとソフトの連携等を図る計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 住民等の活動との連携によって事業効果が発現するものとなっている。	○